

あと施工アンカー施工指針(案)

JCAA

金属系/ 金属拡張アンカー

改定・発行

JCAA

あと施工アンカー
施工指針(案)

【金属系/金属拡張アンカー】

【付録・共通付録・付属資料】

一般社団法人 日本建設あと施工アンカー協会

—— 2025年 改定について ——

日本建設あと施工アンカー協会(以下、当協会)は、あと施工アンカー施工指針(案)【金属系】を2016年に発行しました。約8年経過したことで、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説 第4編 各種アンカー設計指針・解説」が13年ぶりに、第3版として2023年に発行されたことを契機に改定を行うこととしました。今回の学会の改定では、あと施工アンカーの強度だけでなく変形性能についても言及し3つの種別に分類され、金属拡張アンカーは強度だけを対象にしたB種に区別されました。

金属拡張アンカーは、本協会の委員会活動として性能等について精査している研究途上です。金属拡張アンカーの種類や性能の幅が大きく、それらを全てまとめることはできませんでしたが、本施工指針(案)の改定にあたり、【金属系/金属拡張系】と対象を明確にし、今後必要となる性能を意識した改定としました。また、設計者への結びつきを考慮して新たにQ&Aを参考として補記しました。

主な改定内容は以下になります。

- 1) 金属拡張アンカー本体を積極的にせん断抵抗として使用することがありますが、今回の改定では、その記述は特にしていません。
- 2) 金属拡張アンカーを母材に固着した後に金物/取付物を設置する場合(アンカー固着後に金物)と、金物を先に取り付けた後にアンカーを母材に固着する場合(金物後にアンカー固着)を積極的に区別した記述としました。
- 3) 締め付け方式についての分類や図等を特に見直しました。締め付け方式の現状は、(金物後にアンカー固着)が殆どですが、(アンカー固着後に金物)についても言及しました。

その他の改定として、接合筋の角度など接着系の施工指針との整合性を取りました。

金属拡張アンカーは、まだ成長の途上であり、親しみをもって誰でも取り扱いやすいものですが、その取扱いを間違えると大きな禍根が生じます。性格(品質・強度・性能)を良く理解し、正しく取り扱うこと(施工)が重要です。本施工指針(案)が、引き続き、施工関連者だけでなく、工事請負施工管理者や監理者および設計者にとっても、あと施工アンカーの施工品質の向上に役立てれば幸いです。

2025年4月 改定WG 主査 毛井崇博



一般社団法人

日本建設あと施工アンカー協会

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番9号
TEL: 03-3851-6358 (代表)

